

社会科学学習指導案

生徒 第3学年B組 男子19名 女子17名 計36名

指導者 教諭 郡司直孝

I 単元 公民的分野『(3) 私たちと政治 イ 民主政治と政治参加』

II 単元の目標

地方自治の意義や仕組みなど基本的な考え方や地方財政の状況について理解することができる。

III 単元について

本単元では、地方自治の基本的な考え方や地方公共団体の政治の仕組みについて理解させることや、住民の権利や義務に関連させて、地方自治の発展に寄与しようとする住民としての自治意識の基礎を育てることを内容としている。

本時では、函館市の課題を的確に捉え、その課題と解決するためにふさわしい方策を政策案として作成し、他者ととともに効率と公正、基本的人権の尊重などの視点から多面的・多角的に検討・考案する学習活動を展開する。

IV 生徒の実態について

社会科の授業に対する意欲は高く、ペアやグループで議論することを通して、自らの考えを伝えるとともに他者の考えを自らの考えに生かすことのできる生徒が多い。また、多くの資料から自らに必要な資料を適切に選択することのできる生徒が多い。

しかし、個別的・具体的な知識等に関連させ、その関係性を的確に捉えたり、説明したりできる生徒は少ない。また、社会的事象に対する関心や問題意識を強く持っている生徒は少ない傾向が見られる。そのため、社会的事象に関する課題を持ち、その課題意識に基づいて学習を展開することのできる単元・授業構築が求められている。

V 単元の評価規準

○地方公共団体の政治に関わる様々な事象から課題を見だし、対立と合意、効率と公正などの視点から多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現している。【社会的な思考・判断・表現】	○地方公共団体の政治に対する関心を高め、それを意欲的に追究し、民主的な政治について考えようとしている。 【社会的事象への関心・意欲・態度】
○地方公共団体の政治に関する様々な資料を収集し、有用な情報を適切に選択して、読み取ったり図表などにまとめたりしている。 【資料活用の技能】	
○地方自治の基本的な考え方や、地方公共団体の政治の仕組みについて理解し、その知識を身に付けている。【社会的事象についての知識・理解】	

VI 指導計画 (5時間扱い……本時5/5)

単元を貫く学習課題：函館市の課題である()は、どうすれば解決できるのか？

* () 内には函館市における課題を設定する。

学習内容	指導内容 単位時間の学習課題	時間	評価計画			
			関	思	技	知
○私たちの生活と地方自治	地方自治の本旨である「住民自治」と「団体自治」の考え方や、事柄によって国や都道府県、市町村など主体が異なることを踏まえた地方分権の推進について 函館市の課題は何か？それはどうすれば解決するのか？	1	○	○		
○地方自治の仕組み	地方議会・首長の仕組みや役割およびこの両者の関係、直接請求権などの地方自治の仕組みについて 課題解決のための条例を制定するためには、どのような手続きがあるのか？	1			○	○
○地方財政の仕組みと課題	地方公共団体の財政に関する状況やその具体的な内容について 函館市の財政にはどのような特徴があるのか？	1			○	

○住民参加の拡大と私たち	住民が地方自治へ参加する制度や仕組みについて 課題解決のために、住民に何ができるのか？	1				○
○単元のまとめ	「単元を貫く学習課題」への取組を通じて考え続けた函館市の課題と解決の方策に基づいて課題別グループが作成した政策について 「函館市長選挙に立候補を予定している候補者」の政策として、何を主張するべきか？	1 本時	○	○		

*単元終了後、「単元のまとめ」において各学級が確定させた候補者の政策に基づいて、3候補者の模擬選挙を実施し、その結果や投票理由等を各学級へ知らせる。

Ⅶ 本時案

- 1 題材 「単元のまとめ」
- 2 学習目標 地方公共団体の課題を解決するための方策について、地方自治の基本的な考えを踏まえて、意欲的かつ多面的・多角的に考察し、その過程や結果を適切に表現することができる。
- 3 学習の展開

学習活動	教師の働きかけ	●指導上の留意点 ◇評価規準（評価方法）
○課題別グループごとに「単元を貫く学習課題」に基づいて作成した政策案を確認する。	○複数の課題別グループが作成した政策から、本学級の候補者が主張する政策として3つを選ぶことを示す。	●他の課題別グループとともに検討を行うため、交流において特に主張する点や特に直接主張を聞きたい政策を考えたグループを中心に確認させる。
「函館市長選挙に立候補を予定している候補者」の政策として、何を主張するべきか？		
○自らと異なる課題別グループに属する他者とともに、互いの政策案について説明し合う。	○自らが議論を求めるグループに属する他者と幅広く交流させる。	●必要に応じて交流に介入し、議論がより広く深まるように声かけ等を行う。 ●議論の目安として、5分ごとに時間の経過を知らせる。
○学級全体での検討を行い、学級の候補者の政策を決定する。	○とくに決定・採決の仕方を考えさせ、学級全体での検討・決定となるように調整・整理する。	●声を発する生徒の意見だけが通るのではないことを意識させたい。
○単元の学習を振り返って、学習したことや考えたこと、疑問に感じたことや今後追究して見たいことを記述する。	○本単元の学習を通して学んだこと等の記述であることを踏まえた記述ができるように指示する。	◇単元の学習を振り返る記述が、地方自治の基本的な考え方を踏まえ、意欲的かつ多面的・多角的に考察するとともに、その過程や結果を適切に表現したものとなっているか。（ワークシート）